Super GT
Rd6 SUGO
Race Report
2022/09/17-18

General Comments:

今大会のレースは、Damage Limitationを目標とし挑みました。燃料リストリクターが3ランクも下がってしまうと、ストレートスピードが劇的に落ち、ライバル達と戦うのは非常に困難でありました。

Qualify : P14

フリー走行でマシンのバランスは若干アンダーステア傾向でしたが、意外に周りと戦えているという印象でした。
QF1は自身が担当。Hardタイヤで挑んだのですが、菅生は右Frを温める事がとても重要で、温まっていないとアタックに入る周のT1で思い切ってBrを踏めません。ですので特に右Frは入念に温めていました。
いざアタックに入ったのですが、Sector 1を過ぎたあたりでトラブルが発生。一瞬の出来事でしたが、気持ちを瞬時に切り替えて最後まで諦めずアタックしました。しかし、結果は14位と悔しさが。。。決勝に向けては、とにかく生き残ってポイントを取りに行きたいと強く思っていました。

300km Race : P5

今回から決勝レース距離は300km。スタートもBaguette選手が担当。
さすがのBaguette選手もライバル勢のストレートスピードには手を焼いていたそうです。しかし、そんな中でもチャンスをじっと待ち燃費も抑えつ全力で攻めてくれていました。
そして、レース序盤に雨が降り始めます。ここからがBaguette劇場です。WETタイヤに関してはミシュラン勢が速いと思われがちだったのですが、Baguette選手は物凄いタイムで走り続け自身に交代するまでには6番手まで追い上げてくれていました。海外で鍛え上げられたドライバーならではの強さを自身は肌で感じていました。
そして、後半Stintで自身に交代してからは、WETからDRYに変わり、ライン上だけが乾いている状況。ワンミスが命取り。
集中力とアドレナリンがMAXな状態でとにかく全力で攻め続け、1つポジションを上げる事が出来ました。
最終的には5位でフィニッシュ。非常に慌ただしいレースでPit Stopを3回も行った事になっていました。
狭いピットの中、全力で素早い作業をしてくれたチームの皆さんと大驛エンジニアとチームを強く支えて頂いている星野一樹さんに心から感謝です！！！

自分の走りと向き合う

スポンサーの皆様、いつも応援して頂き有難うございます。
また、Rd6菅生の応援も有難うございました！

今大会は、なかなかタフなレースでした。
しかし、今大会は改めて星野一樹さんの偉大さを
感じました。一瞬窮地に追い込まれた瞬間があり、チーム
全体が不安な状態になった場面がありました。
しかし、一樹さんは直ぐに最善の選択と判断をして、
レース中も自身を支えてくれました。本当に感謝です。

そして、レースを終えてから自身の走りと向き合いました。
ここ最近の自身には、無駄なトゲがあります。
良いとげは残しつつ、攻め続けれる様に次戦も戦いたいと
思います！次のオートポリス戦も勝負所です！

引き出し、応援の程宜しくお願い致します！！！